

# 上田市教育委員会 9月定例会会議録

## 1 日 時

平成24年9月26日(水) 午後2時30分から午後3時55分まで

## 2 場 所

上田市教育委員会(やぐら下庁舎) 2階会議室

## 3 出席者

### 委 員

委 員 長	西田 不折
委員長職務代理者	城下 敦子
委 員	小市 正輝
委 員	山崎 順子
教 育 長	小山 壽一

### 説 明 員

武井教育次長、廣川教育参事、小野塚教育総務課長、倉島学校教育課長、緑川学校教育課学校教育担当係長、浅野生涯学習課長、小山人権同和教育政策幹、土屋文化振興課長、黒岩スポーツ推進係長、滝沢丸子地域教育事務所社会教育係長、藤沢真田地域教育事務所長、掛川武石地域教育事務所長、宮之上第一学校給食センター所長、土屋上田図書館庶務係長、神林中央公民館長、倉澤塩田公民館長

## 1 あいさつ

## 2 協議事項

### (1) 浦里小学校火災事故への対応状況について(教育総務課)

資料1により小野塚教育総務課長説明

城下委員

資料1の第4児童及び保護者のケア中(5)では、必要に応じて学級懇談会等を開催していく予定とのことだが、現段階で保護者に向けての説明会などの予定はあるか。

小野塚教育総務課長

火災の次の日にPTA総会を臨時で開いた直後に学級懇談会をそれぞれのクラスごとに行った。学級懇談会等は参観日などがあるときに行うことが通常だと聞いているが、今の浦里小学校では、参観日を予定することが出来ない状況であり、学校側は保護者に対していつでも学校を見に来ていいという対応をしている。今後、時期をみて学級懇談会のようなものを開くということも学校側では考えている。

山崎委員

同じく児童等保護者のケアについてだが、子どもたちにスクールカウンセラーを派遣してケアに当たっている、また、保護者を対象にもカウンセリングをしているということだが、どのようにやっているのか。

小野塚教育総務課長

子どもたちに対しては、全ての学年の子どもたちがひととおりカウンセラーと面談していると聞いている。また、保護者についても夜に日を取ってカウンセラーと保護者が集まって対応状況を説明した機会が1回あったことは承知している。今後、24日の週から、希望する保護者に対して、カウンセリングの機会を設けていく。

小市委員

先生方に対するカウンセリングは考えているか。先生方も非常に気を張ってやっており、東日本大震災のときもそうだが、子どもたちが目の前にいるので弱音を吐くことが出来ず、かなりストレスを溜めている状況があるのではないか。

これからの季節の変わり目は、子どもたちにとって心が不安定になる状況があり、これに対する対応も考えていかなければならない。経験からいうと、雨が降ると子どもたちが大変騒々しくなり怪我が多くなる。そうした中、体育館はまもなく耐震工事が終わるが、遊べる場所、動ける場所を確保しておくことが重要なことと思う。さらに心配しているのは、これから寒くなるとトイレが近くなってくることである。高学年の子どもたちにとっては多少の我慢は出来るかと思うが、低学年の子どもたちはなかなか我慢が出来ないことが心配である。トイレの数は足りるのか心配されるところで、すぐに整備できるというわけではないが、できるだけ早く対応してほしい。

小野塚教育総務課長

耐震工事については10月いっぱいの予定ということだが、業者にはなるべく早く完了す

るよう伝えてある。校庭も使えない状況であり、後片付けの工事の関係もあるが、現場の進捗状況や作業者の話の中では、もうちょっと早く出来るのではないかという見通しもある。また、トイレについてだが、確かに今は西側トイレしかなく、非常に少ない状況である。これについては、補正予算に載せてあるが増設工事をしたいと考えている。

全委員 了承

### 3 報告事項

#### (1) 学校教育関係寄附の状況(学校教育課)

資料2により小野塚教育総務課長説明

西田委員長

ガスタンク等が中塩田小と同じような状況の学校は他にあるか。

小野塚教育総務課長

LPGガスを使っている学校はあるが、中塩田小のようにむき出しの状況は少ないと思う。

全委員 了承

#### (2) 第7回人権を考える市民のつどいについて(生涯学習課)

資料3により小山人権同和教育政策幹説明

西田委員長

どのくらいの人数が集まると予想しているか。

小山人権同和教育政策幹

難しいが、1000人くらいは来てもらえるのではないか。

西田委員長

PRはどのようにするのか。

小山人権同和教育政策幹

毎年、各マスコミ機関への依頼はもとより、関係する64団体がさまざまな形で市民にお知らせしている。

全委員 了承

#### (3) 人権に関する市民意識調査について(生涯学習課)

資料4により小山人権同和教育政策幹説明

小市委員

6ページの人権侵害はどこでありましたかという問いに対して、学校であったという人が、上田市で40.4%、県は31.8%であり、ここに9%近くの違いがあるが、このことにつ

いてどう考察するか。

#### 小山人権同和教育政策幹

この差である9%あるいは8%ぐらいのものについて、調査の大きな差として見るか見ないかというところからまず考えなければならない。調査を担当した職員が検討してはいるが、これは推測するしかなくコメントは控えたい。

#### 小市委員

上田市の調査結果が33ページに出ているが、学校で人権侵害があったと答えたのは20代～40代に多い。これを、人権感覚が豊かになってきたから、教育により人権感覚が高まってきたからそう感じたのか、あるいは、やはり現実としてそういう人権侵害があるからなのかを分析しなければならない。今、学校教育の中でもネグレクトだとか、職場でのいじめだとかいろいろあるので、十分に分析しながら考えていく必要がある。

#### 城下委員

調査を監修する専門家はいるのか。この結果から今後5年間の方策が決まっていくのだから、回収率の数字を上げる対策と調査の結果を専門家に分析してもらう必要があると思う。報告書の冊子をこのような形にしなくても、その分の予算をアンケートに小さな鉛筆（ノベルティ）を付けることに回すなどの工夫をしてはどうか。なおかつ、結果に対しては専門家に見てもらうことも必要だと思うがいかがか。

#### 小山人権同和教育政策幹

今回は、予算的な面からも専門家等と相談させて頂きたい。調査は5年に一度実施しており、次回については、そうした指摘を踏まえて検討したい。

#### 西田委員長

この報告書は基になる資料でありデータとして整えた段階である。この先どう分析し、どのように施策に反映していくかということだと思う。質問とすれば、これに基いて次のステップでどんな施策が出てくるのかということだが、まだそこまでは行かないのではないか。

#### 小山人権同和教育政策幹

意識調査の実施に当たっては、上田市の人権基本方針を改定するための基礎資料として必要なものとして教育委員会で協議いただいた経過がある。今、改定作業を行っているが、ここでは今回の調査結果が反映されてくる。

#### 西田委員長

ひとつは、近年の傾向としては格差社会といわれており、経済格差がもたらす人権問題があると思われるが、この資料を見るかぎりではあまり出て来ない。大変結構なことだが、そうした観点がこれからは必要かと思われる。

もうひとつは、人権侵害等の問題に対してインターネットを利用することがあると思うが、これは諸刃の剣であり、人権侵害や差別の手段にもなり、またそれを解決する手段にもなる。学校教育でも社会教育でもそうだが、ネット社会をどのように啓発していくかということも観点のひとつである。

小山人権同和教育政策幹

インターネット等で情勢が目まぐるしく変化している中、人権というものをどう捉えていくかということが大きな問題である。その時々的情勢を見ながら対応していくしかないと思われるが、5年後にはまた今と全く違う状況が出てくるかとも思う。スマートフォンも5年前にはなかったものであり、そういうことも含めて検討させて頂きたい。

西田委員長

この報告書は、どこに配布されるのか。

小山人権同和教育政策幹

学校をはじめ、公民館等に配布している。また、関係機関に送付している。ある程度の数は確保しているので要望があれば他にも配布できる。

全委員 了承

**(4) 第16回上田城址能結果報告(文化振興課)**

**(5) 第7回子ども文化講座結果報告(文化振興課)**

資料5・資料6により土屋文化振興課長説明

西田委員長

大人でも、きちんとした解説を聞きたいという人がいた。能を理解するためには、基礎的な知識を得た上で能を見たいと言っていた。よい企画である。

全委員 了承

**(6) 第16回うえだ城下町映画祭の開催について(文化振興課)**

資料7により土屋文化振興課長説明

城下委員

この城下町映画祭のパンフレットはいつつくるのか。「淀川長治物語」に浦里小が出ることもパンフレットに少し強調すると、浦里小の地元だけではなくて市内に見たい人もいると思われるので、純粋に僥んでみたいという要望に応えられるのではないか。

全委員 了承

**(7) スポーツ関係市長表敬訪問者報告(スポーツ推進課)**

資料8により黒岩スポーツ推進係長説明

全委員 了承

**(8) 行事共催等申請状況について(学校教育課・生涯学習課・文化振興課・スポーツ推進課)**

資料9-1により倉島学校教育課長説明

全委員 了承

資料 9 - 2 により浅野生涯学習課長説明

全委員 了承

資料 9 - 3 により土屋文化振興課長説明

全委員 了承

資料 9 - 4 により黒岩スポーツ推進係長説明

全委員 了承

#### 4 その他

土屋文化振興課長

博物館事業「権力者と富裕者の幽世」について説明

山崎委員

現在、上田城跡で遺跡の発掘をしているが、そこには説明書きがあり、「ここはこのような場所があったところなので、もしかしたらこのようなものが出てくるかもしれないのでそれを発掘しています」「何かこのようなものが出てきたら、市民の皆さんに報告します」と貼ってあった。後日行くと、このようなものが出てきましたという写真があり、とても市民に情報発信がされていると感じた。

土屋文化振興課長

その場所は、かつて監獄があったということ、石垣が積んであったということ、また、バリアフリー化で舗装をするということがあり発掘をしている。あまり、物が出てこないが、観光客も見たり、聞いてくる人も多い。

城下委員

これは大人向けだの事業だが、小中の子どもたちを対象にもこのような催しがあると、自分の住んでいる地域を知るととてもいい機会になるので、検討願いたい。

全委員 了承

神林中央公民館長

・公民館だよりについて説明

城下委員

それぞれの公民館だよりの用紙が色分けされているのは、何か理由があるのか。

神林中央公民館長

白い紙だとあまり目に留まらないためと理解している。

城下委員

中央公民館に行くと、これらすべての公民館だよりが全部置いてあるということか。

神林中央公民館

それぞれの公民館にすべて置いてある。

黒岩スポーツ推進係長

・上田スポーツプレス創刊号について説明

全委員 了承

閉会